

# 第5回環境基本計画 市民ワークショップの記録

## 1. ワークショップの目的

---

第1回から第4回市民ワークショップでいただいたご意見をもとに作成した「具体的な取組・目標」、「国分寺の未来の環境の姿（全体）」の案を共有する。

その上で、戦略1～3、戦略0の案に対する質疑応答や自由な意見、提案をいただくとともに、市民の立場から、私たちができること・すべきことを考え、模造紙に整理する。

## 2. ワークショップの概要

---

日 時： 令和6年8月 17日(土)10:00～12:30

場 所： 国分寺市役所 1・2委員会室(第1庁舎3階)

参加者： 28名

事務局： 国分寺市まちづくり部まちづくり計画課



## 3. プログラム

---

(1)開会のあいさつ・企画説明

(2)ワークショップ

- ・ 話題提供（過去のワークショップ結果のふりかえり、「具体的な取組（施策まで）、成果指標・進捗管理の指標」、「国分寺の未来の環境の姿（全体）」の案の説明）
- ・ グループワーク           【戦略1～3、戦略0の具体的な取組の補足説明】  
                                  【戦略1～3、戦略0の案に対する質疑応答や自由な意見、提案】  
                                  【私たちができること・すべきことの提案】  
                                  【国分寺の未来の環境の姿（全体）への意見、提案】

・ 発表・意見交換

(3)閉会のあいさつ

## 4. グループの発表内容

---

参加者 28名が4グループに分かれ、「具体的な取組・目標」、「国分寺の未来の環境の姿(全体)」の案に対する意見、提案等を議論しました。テーマ別にグループごとの発表内容を以下に整理します。

A班 「具体的な取組・目標」、「国分寺の未来の環境の姿(全体)」の案に対する意見、提案

基本戦略	意見・提案		私たちができること・すべきこと		
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の行政での成功例をまねる。</li> <li>・ローカルテーブルみたいなかっこいいワークショップを市全体で実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文公式スポットを知らせるコーナーを市役所につくる。</li> <li>・縄文時代は自然と生きものの命をつないできた。</li> <li>・縄文をテーマに色々学ぶ仕組みを作る。市民の学びシステムとしてぶんじの縄文探偵団を活用する。</li> <li>・国分寺学と縄文学をアカデミックの分野で共学させる。</li> <li>・子ども、学生、社会人、シルバーまで一貫した縄文（歴史）教育を行う。</li> </ul>		
戦略1 脱炭素化と循環型社会の形成によるゼロカーボンシティの実現	基本方針 1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑の保全・創出」について具体策がない。</li> </ul>	基本方針 1-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗管理の指標 計画期間の6年で次世代自動車の所有率 16.2%→50.0%という目標は現実的なのか。</li> </ul>	
	施策 1-3-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組⑦ 援農などの取組に1回（1日）でも参加できるようにハードルを下げる。単発のアルバイト探しのサービスなどを活用して手続きを簡単にする。</li> <li>・大手町ではビル街の一面に人々が涼んでいる。小さなスペースでもいいので緑や公園を確保してはどうか。例えば、空き家を市が緑化するなど。</li> </ul>	基本方針 1-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車、自動車、歩行者、車いす等の安全なすみ分けがインフラとして整備できるのか。</li> </ul>	
	基本方針 1-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ排出量の進捗管理の指標が低過ぎる。</li> </ul>	施策 1-5-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアサイクルのステーションを増やす。</li> </ul>	
	施策 1-4-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前のワークショップでは2050年までにごみゼロとしていたが、2030年目標になるとトーンダウンしている。</li> <li>・コンポスト（ごみけしくん）の取組が市民に伝わっていない。どこで使われていて、何につながっているか周知を改善できるとよい。</li> <li>・生ごみのたい肥化をもっと進めるべき。進捗が分からない。</li> <li>・生ごみのたい肥化について、これまでの意見が全く反映されていない。燃やせるごみの減量には1%も貢献していない。大規模に取り組むべき。</li> </ul>	施策 1-5-2、1-5-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EV、ICTがあまり促進されていないが、市としてどのような促進の仕方を考えているのか。</li> </ul>	
			その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験で採った野菜などを持ち帰るのではなく、調理実習等でその日中に使い、数日以内に給食で使う。</li> </ul>	
戦略2 人と自然と多様な生きものが共生するまちの実現	施策 2-1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市でも自然共生をやっているが、国分寺の特性は何でしょうか。</li> </ul>	施策 2-3-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺崖線の落ち葉のたい肥化・利用が農家個人で行われている。市としてサポートする等の方針を明文化してほしい。</li> </ul>	
	基本方針 2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性は、どんな生きものをターゲットにしているのか。増えると（私たちの生活に）困る生きものもいる。</li> </ul>	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然共生をどう実現するのか。</li> <li>・生物多様性のために野川の復元（水鳥、水辺環境、防災）。</li> </ul>	
	施策 2-2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野川について、これまでのワークショップの議論が反映されていない。</li> </ul>			
戦略3 誰もが安全・安心で健康に生活できる住みやすいまちの実現	施策 3-1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の人に環境のモニタリング調査結果の情報を届けることは難しい。</li> </ul>	その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人があまり歩かない道路の灯りを減らす。海外は日本ほど灯りがなくても問題がない。</li> </ul>	
戦略0 国分寺の環境を次世代につなぐ基盤の形成	基本方針 0-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標 インセンティブを付けるともっと閲覧・参加する人が増えると思う。インセンティブは、市内で使えるものを採用すると費用はかさまない。（例 市内で使えるポイント、地域通貨ぶんじの活用など。渋谷区のアチベイが良例。）</li> </ul>	施策 0-1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市HPは色々な情報が載っており、逆に分かりづらい。まとめサイトのような簡潔に情報が並んでいるものにするほうがよい。</li> <li>・市HPのリニューアルはお金と時間がかかる。既存SNSやまとめサイト、Noteなどを情報閲覧の窓口にして、そこから市HPや外部サイトへリンクすればよい（ファンサイト、学生ゼミなど）。それなら市のHPへの入口を多方面から誘導でき、リニューアルもしなくてよい。</li> <li>・SNSの活用になれた若者が情報発信の管理をするといいと思う。東経大SDGsのサークルなど協力はお願いできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民レポーターがメディア（SNS等）を活用して発信する。</li> <li>・若い人たちに任せて発信してもらおう（東経大の学生など）</li> <li>・役所の発信する情報を気にしてみる。</li> </ul>
	施策 0-1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの市の公式アカウントを作って活用する。HPだけでは分かりにくい。SNSや動画配信サービスで発信をして、詳しい情報は市HPで発信してはどうか。</li> <li>・国分寺駅の改札や市の情報発信のブースを有効活用する。</li> <li>・小金井市観光まちおこし協会の「まるん通信」が話題になっている。市民レポーターがイベントに参加したレポートをアップしている。国分寺市でも観光協会との連携・一元化して発信できるとよい。動画配信サービスの「ぶんじチャンネル」も活用してほしい。</li> <li>・イベントを案内するポータルサイト。各主催者が載せる方法があればいい。（小金井市の「こがねい掲示板」が良例。）</li> <li>・情報発信の回数を意識して定期的に発信するのはいいが、チラシなどは「また同じものがきた」とごみ扱いしてしまう。ハザードマップや避難訓練などは、ニュースなどで意識が高まった時に発信したほうがよい。</li> <li>・市HPはこちらから見に行かないと情報が目に入らない。各駅やバス停など、目に入る箇所を活用して情報発信するのが効果的なのではないか。特に駅は改札が1つなので皆の目に入る。</li> </ul>	施策 0-2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺市には縄文時代の遺跡がいっぱいある。縄文MAPをつくってほしい。</li> </ul>	
			施策 0-2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セグメントを横断したイベントや交流の機会がもてると、有効な情報交換ができる。逆に、セグメントされた情報発信があると（伝わるべき人に伝わり）、役立てて活動できる。</li> </ul>	
			その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無作為による正式な市民アンケートに加えて、いつでもだれでも市民アンケートに回答できる二次元コードなどを採用してはどうか。</li> <li>・ごみ袋に二次元コードをつけてはどうか。市報で発信するのもよい。</li> <li>・企業と協働で生物多様性を学び、育て、未来へ送る。</li> <li>・SNSなどインタラクティブなツールがあれば、そこにコメントや記事など参加できる。</li> <li>・大学の新入生向けに市役所でガイダンス（ごみの捨て方や市役所との関わり方）を行う。</li> <li>・コミュニティスペースを増やす。</li> </ul>	

B班 「具体的な取組・目標」、「国分寺の未来の環境の姿(全体)」の案に対する意見、提案

基本戦略	意見・提案		私たちができること・すべきこと		
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動での参加者増加のため、施策・実施計画が必要。</li> <li>第一、第二次基本計画の指標の数値と比較ができると良い。</li> <li>ぶんバスのコースを増やしてほしい。西国分寺→西元町ルートがないので不便を感じる。ほしいルートのコース希望をとってほしい。</li> <li>西国分寺駅と北府中駅間に駅を作ってほしい（黒鐘駅）。</li> <li>ゆるキャラの「にしこくん」が有名なのでホッチと組み合わせ、もっと登場してもらえばいいのではないか。例えば、ゆるキャラの像を作ってスタンプラリーを実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現状は、市民が取り組もうとしていることを市がサポートする体制にある。しかし、本来は市から市民にしてほしいことを伝えるべき。そこで、市が求める市民活動を市民が認識し、選定できる取組を作るべき。</li> </ul>		
戦略1 脱炭素化と循環型社会の形成によるゼロカーボンシティの実現	<b>施策 1-1-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>取組②</b> 簡易型電力表示器の設置による、脱炭素の効果の見える化は早急に進めてほしい。</li> <li>駅やバス停、役所など至る所に簡易型電力表示器を設置して認知度を高めてほしい。</li> </ul>	<b>基本方針 1-1、1-5</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針 1-1 の進捗管理の指標ではエネルギー消費量を半減させようとしているのに、基本方針 1-5 の進捗管理の指標では、電気自動車給電設備を増やそうとしているのが相反しているのではないかな。</li> </ul>	
戦略2 人と自然と多様な生きものが共生するまちの実現	<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートで集計した割合を成果指標としているが、望ましい回答をした割合を高めるのではなく、理解の深まりを評価できるような理解度テストやレベル認定の方が望ましいのではないかな。</li> </ul>	<b>施策 2-2-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きものの生息・生育環境の“質の向上”を目指す上での具体策がもっと必要ではないかな。</li> <li><b>取組③</b> 湧水池等（姿見の池、恋ヶ窪用水）の湧水量調査を項目に入れてほしい。</li> </ul>	
<b>基本方針 2-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>進捗管理の指標</b> 年4回の発信を指標にしているが、各部署がどのような発信をしているか規定を作って管理することが必要。</li> </ul>	<b>基本方針 2-4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>進捗管理の指標</b> 都市計画緑地面積の2030年度の目標が“増加”となっているが、具体的に数値化してほしい。また、人口増加傾向のなかで現実的に増加は可能なのか。市全体の緑地面積と都市計画緑地面積の推移を把握することが必要。</li> </ul>		
<b>施策 2-1-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性や緑、水を知ってもらうための半日イベントを企画し、近隣市区町村から参加してもらおう。姉妹都市など他の自治体とタイアップするとよいのではないかな。</li> </ul>	<b>施策 2-4-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎など公共施設が建替えの時期になっているなか、ほとんどの樹木が切り取られてしまっている。公共施設の建替え時に樹木を残す計画を立ててほしい。</li> </ul>		
<b>施策 2-1-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育を充実させる具体が実施計画に出てこない。生徒達が自ら考え学習し、それをサポートするような体制づくりを作ってほしい。</li> </ul>	<b>その他意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡の跡地が多いが、ただの原っぱに見えてしまう。建物を復元し、インパクトのある建物を作ると、他の街から見にくる人も増えて市が儲かる。</li> <li>警察病院の跡地を利用して大きな公園を整備してほしい。</li> </ul>		
戦略3 誰もが安全・安心で健康に生活できる住みやすいまちの実現	<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートにおける満足度を指標にするのは良いが、回答割合を算出するときの母数（回答者数）に条件はあるのか。</li> </ul>	<b>その他意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路が狭いので広くしてほしい。特に国分寺駅北口が狭いので、国立みたいにしてほしい。</li> <li>安全性の確保について、伝鎌倉街道のライトが暗いので怖い。女性もよく歩いているのでライトを増やしてほしい。</li> <li>国分寺警察署を作ってほしい。（小金井市と共同ではなく別の署として）</li> </ul>	
<b>施策 3-2-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>取組③</b> 「受動喫煙防止対策の推進」と記載されているが具体策を示してほしい。</li> </ul>				
<b>基本方針 3-3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>進捗管理の指標</b> 騒音・振動の苦情処理件数を設定しているのに、戦略3 成果指標の現状値では要請限度を達成していることになっている。成果指標を根拠に慢心して現状維持していこうという方針はやめた方が良い。</li> </ul>				
戦略0 国分寺の環境を次世代につなぐ基盤の形成	<b>基本方針 0-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>進捗管理の指標</b> 現状値 2,848 回のHPアクセス数はとても少ない。キーワードを検索した時にヒットしない分りにくいHPになっている。</li> <li><b>進捗管理の指標</b> 基本方針 2-1、3-1 進捗管理の指標で「HPのリニューアル」と記載があるが、アクセス数が3,000人未満の状況で変化したことに気付く人はいるのか、別の目標にすべきではないのか。</li> </ul>	<b>基本方針 0-3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>進捗管理の指標</b> 環境アドバイザーが現状19人というのは人口比から見ると少ない。認知・周知不足を感じる。環境アドバイザーの解説も含めて記載してほしい。</li> </ul>	
<b>施策 0-1-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>取組③</b> SNSなどを活用した情報発信手段を検討しているが、やはり情報を届けるのは難しい。デジタルギフト進呈などインセンティブを与えないと周知効果は向上しない。</li> <li>HPのアクセス数が少ないので、キーワードの工夫が必要。</li> <li>キーワードで、国分寺市の情報に直結することが必要。</li> </ul>	<b>施策 0-3-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童、生徒達が関心を深めるため、大気、水、緑の拡大・維持のための自主的な学習の機会を増やす。</li> </ul>		
<b>基本方針 0-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>進捗管理の指標</b> 環境に関する各講座が募集人数の定員割れをしているかどうかを知りたい。各講義が定員割れしていないなら開催数を増やせば良いし、定員割れしているなら講義内容をより魅力的にして増やす努力をした方が良い。</li> <li><b>進捗管理の指標</b> 開催数、参加人数を増加させるのは良いが、実施計画のなかでの具体策はどのように考えているのか。また、イベントにどのような人が来たのかも意識してほしい。</li> </ul>	<b>施策 0-4-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>取組①</b> 民間企業へ協力依頼をするのであれば、一定企業への助成や税の免除をしないと企業は動かないと思う。</li> <li><b>取組①</b> 国分寺学をやっているが、現場の教師が国分寺のことを理解していないし、忙しすぎる。忙しすぎる教育現場が動きだせるような情報提供と支援が必要。</li> </ul>		

C班 「具体的な取組・目標」、「国分寺の未来の環境の姿(全体)」の案に対する意見、提案

基本戦略	意見・提案				私たちができること・すべきこと
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に市民に対しての知識を増やしましょうといった啓発の取組が多く、市主体の具体策が乏しい印象を受ける。</li> <li>・生活のなかに脱炭素やごみ、自然環境の取組を落とし込むときに、カーボンニュートラルに市民が貢献できている、ごみゼロに貢献できているという各論の話は重要だが、環境基本計画という特性上、総論として市民にどのように貢献しているという実感を持たせるかが重要だと思う。</li> </ul>				
戦略1 脱炭素化と循環型社会の形成によるゼロカーボンシティの実現	施策 1-1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルを実現させるためには、市民がカーボンニュートラルの理解を深めるとともに脱炭素型のライフスタイルに取り込むことが重要。</li> </ul>	施策 1-5-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークアブルな空間の形成として、歩道のタイル舗装がガタガタで危険な箇所があるため、補修してほしい。</li> </ul>	
	施策 1-3-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組① 法令上、保存樹木や樹林地の指定を継続させる仕組みはある。しかし地権者の事情で樹木を手放すことに対する法的拘束力がないため、保存樹木を残せるかどうかは持ち主の意向に依存されている。開発圧力に負けて手放してしまうケースが相次いでいる。相続の問題で売らざるを得ない状況に対して対策がない。</li> </ul>	施策 1-5-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の公用車に次世代自動車を導入することで、市民への普及を図るべきである（パッカー車等）。</li> </ul>	
	施策 1-4-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組①、⑥ 6万5千世帯に対して、生ごみ拠点収集は6ヶ所しかない。拠点収集箇所を増やし、最低でも全世帯数の1割の収集件数を指すことでもやせるごみ減量を推進してほしい。また、拠点収集箇所は悪臭問題が発生するので配慮してほしい。</li> <li>・取組⑥ 一般市民のごみに対する意識は必ずしも高くない。そのなかで生ごみの拠点収集に生ごみを持っていくコストを支払うだけのメリットが伝わると取組が広がると思う。</li> </ul>	その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野川のことももう少し入れた方がよい。</li> </ul>	
戦略2 人と自然と多様な生きものが共生するまちの実現	基本方針 2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺の誇りである野川の復元、緑化の促進に取り組むべき。</li> </ul>			
戦略3 誰もが安全・安心で健康に生活できる住みやすいまちの実現	基本方針 3-1				
戦略0 国分寺の環境を次世代につなぐ基盤の形成	施策 0-1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親が自然体験をしていないため、子供に知識や自然学習に関する情報が伝わらない。</li> <li>・世代、項目、主体を具体的に示して情報提供をするべき。</li> </ul>	施策 0-2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代によって学習方法が違うのでそれを意識した体系化をしてほしい。施策 0-1-1 にもつながる。</li> </ul>	
	施策 0-1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が市の取組を知らないと思う、知ってもらうために小学校への環境教育としてSNSも活用してほしい。</li> <li>・国分寺市における環境問題の現状やそれに対する取組の情報が少ない。</li> <li>・ワークショップや出前授業などの情報発信の場を増やすべき。</li> <li>・ショートムービー共有サービスなどの若者が使用するSNSで情報発信をすべき。</li> <li>・市民が具体的に何をすれば良いかわからない。</li> </ul>			

D 班 「具体的な取組・目標」、「国分寺の未来の環境の姿(全体)」の案に対する意見、提案

基本戦略	意見・提案		私たちができること・すべきこと		
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>再掲の施策が多くて読みづらい。戦略1がゼロカーボン行動計画で固定されている中で頑張ったと思うが、MECEを意識して見直さなければいけない。</li> <li>本当に持続・継続していくために何をすべきかを考える必要がある。</li> </ul>				
戦略1 脱炭素化と循環型社会の形成によるゼロカーボンシティの実現	<b>施策 1-2-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営、都営、UR、断熱住宅への投資をしっかりと整備してほしい。目標値の明示が必要。</li> </ul>	<b>施策 1-5-3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LEDの整備に乗じて、ポールを植物にしたり、防犯カメラを設置したり、ミストがでるようにしたり、プラスアルファで環境に配慮したデザインをできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果の高い再エネ電力に切り替えましょう。</li> </ul>
	<b>施策 1-2-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果の高い再エネ電力への切り替えに対して助成すべき。(税金を必要なことに使う)。</li> </ul>	<b>施策 1-6-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地の庭の緑化、雨庭。</li> <li>大規模災害時などでも、冷房の利く公共施設などの確保、提供ができるようにしないといけない。</li> <li>熱中症と自然災害の複合災害に対してのリスク対策を、お金のある東京都と連携して取り組んでほしい。</li> </ul>	
	<b>施策 1-3-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国分寺は住宅が多いが、家に緑を増やすことは難しいと認識している。道路に緑を増やすしかない。緑を増やすという視点だけではなく、木陰を増やして熱中症対策にした方がよい。サルスベリは植えない方がよい。</li> <li>大学は緑化が進んでいるように思うが、小・中学校や高校などは緑が少ない印象がある。公立の学校でもっと緑化を推進することによって、生きものに触れる機会も増加するのではないか。</li> </ul>	<b>施策 1-6-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災、防犯まちづくりとの連携、13歳未満の子供と70歳以上の高齢者だけが歩道を自転車で行けるルールを知る。</li> </ul>	
	<b>施策 1-4-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こくベジを守るために農地を残そうと考えた時に、農地自体を守ることの一步先のオーガニックや循環型農業に助成金が必要。農業は環境とトレードオフの関係になってしまうので、循環型農業を推進して環境にやさしい農業が推進されると良いと思う。</li> </ul>	<b>施策 1-6-3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境リスクを知る、人を含めた生きものに影響がある。</li> </ul>	
			<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎の環境対策に不足がある。市は市民と共に相当しっかりした対応を図ることを求める。</li> <li>気候変動、地球温暖化などにより社会が大きく変わってきている中で、環境基本計画がどうあるべきかを踏まえた計画策定をし、それを市民に知ってもらう必要がある。</li> </ul>	
戦略2 人と自然と多様な生きものが共生するまちの実現	<b>施策 2-1-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こくベジのプレミアム化させて、高付加価値の付いた商品として市外にもアピールする。</li> <li>現場には行けないけど、生息している生きものを見られる場所があるとよい。</li> </ul>	<b>施策 2-2-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹や公園などに対し、市民団体などが能動的に活動できるように、指定管理を市が行い、助成をしっかりとしていくことが必要。市民を応援するための税金の投入をしてほしい。好きな人だけでなく、お金を投入することで、そうじゃない人たちも参加しやすくなる。</li> <li>生きものの生息・生育地としての湧水地の保全が必要。生きものにとっても水質の管理や、流域単位の整備・保護が重要。</li> <li>湧水が減少、水資源を大切に、水不足。</li> </ul>	
	<b>施策 2-1-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性と叫びつつ生きものが苦手な人がある。小学校の時点で自然体験をすることで、拒否感が育つ前に親しんでもらう。ただし、小学生でも嫌いな子もいる。</li> <li>シニア住宅の庭のお手入れサービス。</li> <li>⇒高齢者住宅に住んでいるシニア世代の人たちが、社会で働く・活動する機会づくりとしての環境活動に参加できる。</li> <li>環境教育を学校で学んでも教育として受け取ってしまう。日常の暮らしの中で、環境を感じ意識できる仕掛け・デザインがあると良い。例えば、公園など遊び場に高木がないため、子どもが緑を感じる機会がない。</li> </ul>	<b>施策 2-3-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カブトムシの育った土がいい肥料になるので、カブトムシビジネスを盛り上げて、肥料を市内で活用するような循環ができればいいのではないか。屋上を活用したミツバチビジネスも良い。</li> </ul>	
			<b>施策 2-4-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅に緑があっても周囲が宅地化されると生きものは棲めないで、生きものが生息できるまちづくりも意識してほしい。歩道の街路樹を見直す。</li> </ul>	
			<b>施策 2-4-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑の量や、コンクリート量などの住宅建築の条件を条例で規定してほしい。</li> </ul>	
戦略3 誰もが安全・安心で健康に生活できる住みやすいまちの実現	<b>施策 3-1-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>取組③</b> 有害化学物質というのはPFOS、PFASだけでない。海洋プラスチック問題や子供の発達への影響も心配される広義な話なので、様々な有害な物質などがあることも考えるべき。</li> </ul>	<b>その他意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒートショックで死亡例も出ている。健康的に暮らせる安全な住宅づくりも課題である。</li> </ul>	
戦略0 国分寺の環境を次世代につなぐ基盤の形成	<b>施策 0-1-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境基準を分かりやすい場所へ。</li> <li>⇒目標や達成状況、進捗などは市民が見る・感じる機会がない。例えば、駅前に現在の達成率が掲示されているなど、ホームページだけでなく、普段目につく場所に分かりやすく表示すべき。表示の仕方も、数値ではなく、例えばイラストやプロジェクションマッピングなどにより、達成状況によって、木々の緑が増えていく演出、ゲーム感覚で達成率が分かる演出があると良い。</li> <li>啓発のための期間限定キャンペーン。</li> <li><b>取組②</b> 環境基本計画の目標と進捗をホームページで更新するだけでなく、皆の目につく場所に掲示してしまったほうが良い。さらに、毎月情報更新すると良い。</li> </ul>	<b>施策 0-1-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園はNPO法人の指定団体が管理していると思うが、NPO法人の指定団体が能動的に動けるように、指定管理を市が徹底して助成金を有効に使ってほしい。森林環境税を上手く使うことも重要だと思う。</li> </ul>	
			<b>施策 0-2-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校のコミュニティスクールの充実。父兄や教職員の教育。</li> </ul>	
			<b>施策 0-4-1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都の自然保全の施策の場所に緑化する。自然学校など。</li> <li>⇒都の施策とも連動して取組を進める。</li> <li>企業のイメージアップへの取組に、市が協力することで事業者と市がウィンウィンの関係で環境に貢献できるのではないか。環境保全に取り組む企業とのコラボ。外郭団体の自然学校の取組に国分寺を選んでもらえると、都の財源を活用できるのでアピールしてほしい。</li> </ul>	
	<b>施策 0-1-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の持続可能性を考えたときに、ボランティアに頼ったものは、「マネタイズ」(無収益のサービスなどを収益化すること)ができていないと長く続かないのではないか。ビジネスも意識して事業化を図ると、高齢者もお金が稼げるようになるなど、人々が協力するきっかけになる(茨城県境町が良例)。援農ボランティアもボランティアに頼るのではなくお金で回せるようにすべき。例えば、ふるさと納税のお金を援農参加者に使うなど。</li> </ul>	<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次代を担う子どもたちの考えを聴く・活かす機会を設けてほしい。</li> <li>農業 ハウスの増加、エネルギー課題、直売所が充実。</li> <li>今のままの学習・教育では行動変容までいかない。学習・教育のあり方を社会や環境の変化に合わせて変えていく必要がある。</li> </ul>	

## 国分寺の未来の環境の姿(全体)への意見、提案

「緑と水、生きものにふれあう楽しさを実感し、仲間とともに、国分寺の自然や環境の多様性を誇れるまち」の事務局案に対する意見、提案

班	意見、提案
A 班	<p>(事務局案に足りないキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文時代をコンセプトに生きのびるすべを学び、仲間と完成を育もう。</li> <li>・縄文時代から考えてみよう。</li> <li>・やすらぎ(緑と水と安らぎのある国分寺が大好き)。</li> <li>・緑とふれ合える、素晴らしいシニアライフ。</li> <li>・水とふれ合える小川と池。</li> <li>・(親子も一人暮らしの方も、まちに暮らすすべての人々が)安全で暮らしやすい。</li> <li>・究極のコンパクトコミュニティ(子ども・若者・社会人・シニアのバランスがとれている。大き過ぎず小さすぎない都会であり、緑もある。)</li> <li>・「生物多様性の保全」につながるワードがほしい(野川など、具体につながる表現)。</li> <li>・仲間という表現が、身内・家族など限定されたイメージを想起させる。世代、職業、エリアなどに関係なく、全体を捉えるニュアンスを考えてほしい。</li> <li>・「誇れる」という意味を好きになるまちという風に分かるようにしてほしい。</li> </ul>
B 班	<p>(事務局案に足りないキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町単位で住みやすい。利便性が高いまちづくり。市内バスの普及。川がいっぱい目にして見えるまち(暗渠の撤去)。</li> <li>・市と市民が同じ想いを持って、緑と水とさわやかな大気を生み出す国分寺。</li> <li>・歴史、緑、水にあふれ、静かで、空気がきれい、のびのび、安全、安心、豊か。</li> <li>・市民がさわやかな緑と水と大気と歴史を楽しめるまち。</li> </ul>
C 班	<p>(市民が考える国分寺の未来の環境の姿(全体)(班全体の提案)) 「市民一人々が緑と水、生きものにふれあうまちづくり!」 (事務局案に足りないキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語を明確にすべきであり、全ての市民(世代)が主体であるため、「市民ひとりひとりが～」を追記すべき。</li> <li>・若者等を引き付けるため、「緑と水、生きもの」に代わる新たな造語(例:GWB(Green Water Bio)等)があると良いが、今の案は誰にでも分かり易いため良い。</li> <li>・「生物の多様性」と「環境づくりを行う主体の多様性」の2つの意味を含めて「生物多様性の保持」というフレーズがほしい。</li> <li>・国分寺の誇りである「国分寺崖線(遺跡の宝庫)」や「湧水の街」といったフレーズがほしい。</li> <li>・危険性が少なく受動喫煙等がない環境づくりをしてほしいため、「安全、安心、美しい環境づくり」といったフレーズがほしい。</li> <li>・街灯や歩道への距離・消費カロリーの表示を増やし、歩きやすい環境づくりを行うことで、健康かつ環境負荷の少ないまちづくりを行ってほしいため、「ウォーカブル」というフレーズがほしい。</li> </ul>
D 班	<p>(市民が考える国分寺の未来の環境の姿(全体)(班全体の提案)) 提案「緑と水、生きものとともに“たのしい”“おいしい”があふれるところ(こくぶんじ)」 (事務局案に足りないキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みたくなる 入りたい 育てたい まち。</li> <li>・外からの視点や評価(「仲間」というワードが少し暑苦しい・内内のイメージで外からの人が入りづらい?若者は SNS などゆるく広いつながりが主流なのではないか。もう少し市外の人からの想いや評価も含めた表現ができるとうい。)</li> <li>・緑と水と暮らす国分寺。</li> <li>・毎日を おいしい毎日。</li> <li>・美味しいまち 緑・水・やさしい(「おいしい」には、単純に美味しいという意味だけでなく、様々な面で「うまみ・恩恵のある」まちという意味を込めたい。)</li> <li>・文化あふれるまち デザイン 遺跡。</li> <li>・「ふれあう」、「取組」、「まち」というワードはなくても良いのでは。</li> <li>・「仲間」、「誇れる」は市民側からの視点が強いように感じる。</li> </ul>